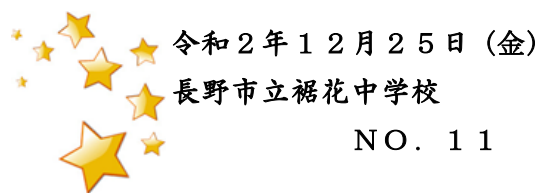


星花きらめく



令和2年12月25日(金)

長野市立裾花中学校

NO. 11

☆コロナ禍の中、2学期もお世話になりました☆

新型コロナウイルス感染症の影響で夏休みが年度当初の予定より多少短くなり、8月18日(火)からの登校となった2学期(90日間)でしたが、本日終業式を迎え明日から年末年始休業になります。

生徒の皆さん、長い2学期となりましたが、このコロナ禍の中、第62回星花祭や中体連新人大会、各学年行事(1年校外学習・3年修学旅行、等)、音楽会、生徒会選挙そして引き継ぎ会等々本当にお疲れ様でした。この1年、新型コロナに振り回されっぱなしの1年ではありましたが、それにくじけず、新たな取り組みやチャレンジをしてきてくれたことに感謝します。また、保護者の皆様におかれましても、学校や学年行事等、本校の教育活動に際しましてご理解とご協力をいただきましたこと本当に感謝申し上げます。

さて、この年末年始は「ステイホーム」という言葉が掲げられ、例年のような大晦日やお正月といった華やかな年越し行事とはならないかもしれませんが、ご家族を中心に家に長く居る分、家族との会話やふれあいを重視していただけたらと思います。この休みに英気を養って、新学期をフレッシュな気持ちで始められたらと願っています。

来年、2021年・令和3年・丑年も、どうかよろしく願いいたします。

【校長講話(2学期終業式より)】

<前段落>

先日、他校から、何人かの先生が2年1組の理科の授業を参観にいらした。私は校長会のため、参観することはできなかったが、「グループ単位で活発に意見交換する姿から、誰とでも意見を交わすことができ、学ぶ姿勢が育っていると、参観された先生方より嬉しい声をいただいた」と、教頭先生から報告を受けた。

また、その先生方が、皆さんが静かに黙々と清掃に取り組んでいる姿を目にして、驚き、感心されていたという話も伺った。

学校生活を通して、皆さんが成長していることを、校長としてとても嬉しく思う。

一方で、友だちの発表にあったように、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2学期も、行事の変更を余儀なくされた。

しかし、この間の皆さんの様子を見てみると、「できない」ことは、決して「あきらめる」ことではないということを感じた。そこから、新たな取り組みがいくつも生まれた。

一つめ。リモートによる星花祭の開催。例年2日間で開催していたものを、1日開催とした。その中で、生徒会がこだわったのは、全校が一つになること。各教室でテレビを視聴する方法がある中、二つの体育館をリモートで結び、双方向のやりとりをしながら、全校が「つながる」ことを求めた。

生徒会企画では、学年、学級を解体して縦割りグループを作成し、グループ内で力を合わせて課題の達成を目指した。北体育館からの中継と、各教室の中継をつなぎ、全校で時間を共有することを目指した。

思ったように中継が繋がらず、生徒会役員、そして、それを支えた3学年の先生方はかなりやきもきしていたが、新たな試みの中で、充実感の得られる星花祭となった。

二つめ。オンラインの試みは生徒総会へとつながった。

昨年度のこの時期の生徒総会は校内放送によるものだった。この12月に行われた生徒総会は、1学期に行われたオンラインによる生徒総会の反省を踏まえ、武道場を会場とし、第62期生徒会の全役員が集まって行われた。その様子はビデオカメラで撮影され、各学級に配信された。会員はリアルタイムでその様子を視聴し、議決は学級ごとに集計し、その結果を武道場に報告して、1号議案、2号議案が共に承認された。

昨年度は行うことができなかった、新役員の紹介も行われ、少しずつではあるが、本校のオンラインによる取り組みが、向上しつつあることを実感している。

生徒会による、新たな試みが、このような結果をもたらしてくれたと思っている。

三つめ。ホクト文化ホールの大ホールにおいて、音楽会が開催された。

音楽会開催直前、長野市、北信地域における、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が確認され、終日を半日に、3年生保護者を迎えての開催を無観客に変更しての開催となった。

直前での変更であったが、生徒、保護者の皆さんの温かい理解、そして、先生方を含めた臨機応変の対応により、大きな混乱なく、無事、素晴らしい音楽会を開催することができた。

各学級の思いのこもった歌声に、心が震えた。

四つめ。3年生の修学旅行。

目的地、開催日共に変更し、私たちが暮らす、信州、南信、中信方面へ、一泊二日の旅行となった。星花祭終了後、一ヶ月という短い時間の中で、学級ごと工夫を凝らし、当日は、楽しい時間を過ごし、良い思い出が作られたと聞いている。この時も私は校長会のため、残念ながら、この姿を見届けることはできなかった。

「当たり前が当たり前だと思っではいけないということがよくわかった。」

「毎年同じことができるということが、こんなにも楽だとは思わなかった。」

こんな声が、各所から聞かれた。

例年と同じことができない状況の中、一つひとつのことに對して知恵を絞り、工夫を凝らしてきた皆さんは、今まで以上に、考える力を伸ばしてきたと思う。そして、何よりも、「諦めない心」が育ってきているように思う。

イギリスの科学者で、電話の発明で知られる発明家のグラハム・ベルの言葉。

「扉が閉じたら、もうひとつの扉が開く。だが、閉じられた扉をいつまでも悔しそうにじっと見つめていては、別の扉が開いたことに気づかない」

まさに、今の時代にふさわしい言葉だと思う。しっかりと受け止めたい言葉だ。

また、先日、白血病から復帰した競泳女子の池江璃花子さんの言葉を目にした。

「今年1年は病気から復帰して、大変なコロナの中でも大変な1年でしたが、試合にも出場できて、とても充実した1年でした。すごく大変なことはあるけれど、それを乗り越えたら必ず良いことが待っている、と信じて頑張ります。」

挫折、失敗等、うまくいかないことはたくさんある。ベルが言うように、その状況をどう捉えるかだ。現状を羨み、後ろを向き続けるのか。それとも、切り替えて、前を向くのか。その時の考え方によって、決断によって、人の運命は大きく変わっていく。

前を向く人にとっては、よくない出来事も、「挫折」、「失敗」ではなく、むしろ、自分に必要な糧と捉え、成長へとつなげるようだ。

コロナ禍の大変な時代ではあるが、一つひとつ乗り越えて前進していこう。池江さんが言うように、その先には良いことが待っているはずだ。

この気持ちを忘れなければ、来年も良い年となる。前を向いていこう！

◇ 2 学期の学校生活の様子より ◇



↑ 1年ひまわりプロジェクト



↑ 2学年内生徒会選挙



↑ 1年校外学習(妙高)



↑ 3年修学旅行①



↑ 3年修学旅行②



↑ 修学旅行③



↑ 人権講演会 ↓ 新役員紹介



↑ 音楽会① ↓ 生徒総会



↑ 音楽会② ↓ 生徒会引継会



◇学校からのお知らせ◇



【年末年始休業中(12/26～1/6)の学校業務について】

明日からの年末年始休業に関わりまして、以下の点についてお願いいたします。

①先日配布されました「年末・年始休業の生活の決まり」に沿って、健康かつ安全な生活を心がけるよう、お家でもご指導いただければと思います。

②学校リフレッシュウィーク(12/26～1/3)に関わって

上記の期間は、市内統一で「学校閉庁期間」に設定されております。

そのため、この期間は学校に日直を置かず、無人化となります。電話についても土日や祝日等の休業日同様、留守番電話対応となりますので、ご了承ください。なお、急を要する場合は、長野市役所代表番号へ連絡をお願いいたします。市教育委員会より校長・教頭に連絡が入るようになっております。【詳細は別紙資料をご覧ください】

③生徒本人が新型コロナウイルス感染症に感染した(陽性となった)場合

市内校長会で確認し、すべて市教育委員会へ連絡していただくことになりました。従いまして、陽性判定となった場合は、上記の方法により、市教育委員会へ連絡をお願いいたします。

なお、濃厚接触者となった場合やPCR検査を受けた場合は、1月4日(月)以降学校に連絡いただきますよう、お願いいたします。

④健康観察のお願い

連日の報道の通り、全国各地で新型コロナウイルス感染症の拡大が報じられています。長野県では、先日北信圏域がレベル4からレベル3に下がり、県全域がレベル3になりましたが、「警報」状態には変わりありません。引き続き「Forms」または「チェック表(紙のカード表)」による健康観察を年末年始休業中も必ず実施いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

【1月の予定について】

7日(木)3学期始業式 12日(火)3年総合テスト⑤ 22日(金)英語検定 28日(木)漢字検定

セクハラや生徒に関わる相談窓口は、
西澤 友子 (養護教諭)
小伊藤裕子 (養護助教諭)
廣田 和彦 (教務主任) です

長野市立裾花中学校 文責 市川 寿 (教頭)

電話：026(226)1804

FAX：026(226)1881

電子メール susobanajh@nagano-ngn.ed.jp

HP：<http://www.nagano-ngn.ed.jp/susobana>

